

授業科目 公衆衛生看護活動論 II

【担当教員名】 小山 歌子、杉本 洋		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 地域で生活する人々の健康を保持増進、改善するために必要な支援技術である保健指導について理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 公衆衛生看護活動における保健指導の位置づけと目的を説明できる。 2. 保健指導を実践するために必要な理論を説明できる。 3. 個人や家族、集団に対する保健指導の方法を説明できる。 4. 住民が主体的に健康を保持増進する活動の支援方法を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	保健指導の概念			1	講義、担当：小山 歌子
2	家庭訪問の目的、対象及び方法			2、3	講義・DVD、担当：小山 歌子
3	健康相談の目的、対象及び方法			2、3	講義・DVD、担当：小山 歌子
4	健康診査の目的、対象及び方法			2、3	講義・DVD、担当：小山 歌子
5	健康教育の目的、対象及び方法			2、3	講義・DVD、担当：杉本 洋 他
6、7	グループ支援・組織化の方法（1）・（2）			2、4	講義・DVD、担当：小山 歌子
8	まとめ			1～4	講義、担当：小山 歌子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公衆衛生看護学 jp	荒賀直子、後閑容子	インターメディカル	既に購入したものを使用する。
		公衆衛生看護学	津村千恵子、上野昌江	中央法規	既に購入したものを使用する。
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 課題レポート・小テスト 30%程度 筆記試験 70%程度			【履修上の留意点】		